

校長室より

「天空高き」



第80号



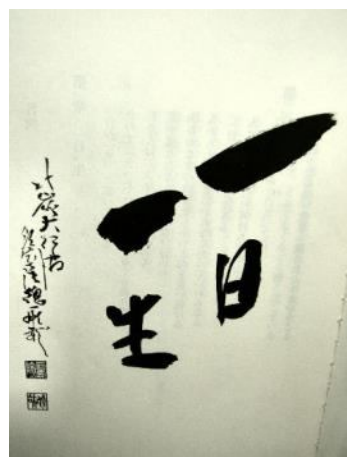
平成28年2月8日

卒業生に一最後まで粘りを大切にー

1月の8日に始業式を行い、27日が終業式でした。3週間という、本当に短い3学期でした。

1月の16・17日にはセンター試験があり、25日の月曜日から国公立大学に2次の出願が開始されました。私立大学の入学試験も始まり、中には既に合格通知をもらったという人もいます。

受験生の皆さんには、いつも平常心で受験に臨んでもらいたいと思います。そのためには、普段の毎日の生活のリズムを維持することが大切です。たとえ、環境が変わっても、いかに普段の自分でいられるかが大事です。イチロー選手の言葉を引用すると、「特別なことをするためには、普段の当たり前のことを当たり前にする」ということです。



大阿闍梨 酒井雄哉師筆

すでに進路が確定している皆さんにお願いします。

4月までに約2ヶ月間、60日あります。大学や専門学校に進学する者は、次の段階に備えての準備期間にしてください。これから、高校時代の基礎学力が土台になります。まだ、基礎学力が十分身につけていないと思っている生徒さんは、もう一度教科書で復習してください。大事なことは、「学ぼうとする気持ちです」。

就職する46名の生徒の皆さんは、社会人として当然のことですが、「元気な挨拶」「明るい返事」「話を聞ときは相手の目を見て聞くということ」そして「何事にも心を込めて尽くす」という、当たり前のことを当たり前に続けてください。

4月から、進学する人も、就職する人も、社会人としての第一歩を踏み出します。これから、いつ、どこで、どんな困難な場面に直面するかもしれません。時には逃げ出したくなるようなこともあるかもしれません。そのような場面でも、正々堂々と、自分らしく、最後まで全力を尽くすことです。結果として、大きな失敗をすることも

あるかもしれませんが、その時は、誠心誠意、対応することです。素直に反省することです。

人が本当に評価されるのは、困難な場面や失敗したときに、その人がどのような態度を示すかです。人の価値は態度で決まります。大事なことは、失敗から学びとり、あきらめないで何回もチャレンジし続けることです。人生はやり直しのきかない片道切符です。いつも前向きに全力で生きてください。

ところで、皆さんは6月の参議院選挙で、初めて投票します。皆さんには政治が毎日の暮らしにどのような影響を与えているのか、なかなか想像できないと思います。

皆さんにとって一番わかりやすい例が、消費税だと思います。

平成元年に3%の消費税が導入され、平成14年に5%になりました。平成26年、今から2年前に、消費税が5%から8%に上がりました。3%上がるだけで、皆さんの生活に大きな影響があったと思います。

このように、政治は皆さんの生活と密接に直結しています。だからこそ、皆さんにはこれからの半年間、政治の動きや各政党の政策に触れ、どの政党に、どの人に投票すべきか、じっくり考えてもらいたいと思います。

皆さんの1票で岩国市を山口県を日本を変えることができるということを、しっかり自覚してもらいたいと思います。

最後になりますが、私はみなさんの一ファンとして、応援しています。体が資本ですので、第一に、健康維持増進に努めてください。そして、3月1日の卒業式を皆さんとともに、盛大にお祝いしたいと思います。

*卒業生の皆さん、これからも大切にしてもらいたい事を10項目掲げています。本当に当たり前のことですが、将来家庭を持ったときも家族で大切にしてください。

1. 挨拶をする
2. 規則正しい食事をする
3. 早寝・早起きをする
4. 姿勢を良くする
5. 身の回りのことは自分でする(靴をそろえる・服をたたむ)
6. 社会や学校、家族のルールを守る
7. 人に迷惑をかけない
8. 人の体や心を傷つけない
9. 誰に対しても優しく、きれいな言葉遣いをする
10. 物を大切にする

日本人はすごいなー

右の写真は、2月20日に閉店する大阪市北区の名物靴店「靴のオットー」が、閉店セールに合わせて復刻した垂れ幕の数々です。

「もうあかん やめます！」



「いや、やっぱりやります！ どっちやねんセール」「倒産(とうさん)セール！ もうすぐ父の日だけにね！」「横綱も、この店も、土俵際。出直しセール」「格差社会を是正せよ。身長格差は当店で。人は見た目が9割だから。」など平成3～19年ごろのものと思われる8種類を店頭に掲示しています。

大阪人の商売根性の凄さを見せ付けられるような垂れ幕ですね。

あらためてスゴイと思う事がもう一つあります。それは、標語をひらがな、カタカナ、漢字の3種類の文字で表していること。それも縦書きと横書きです。そんな国は他にあるでしょうか。大いに誇れることだと思います。

一滴の水 「一滴の水が大海を潤す」

時々電車に乗る機会があります。今回は、岩徳線、山陽本線、そして新幹線を利用しました。

いつもは車での移動が多いので、電車等に乗車したときは、きょろきょろと周囲を見渡してしまいます。

どんな人達が乗っているのか、何をしているのか、好奇心の塊になってしまいます。

皆さんも大体推測できると思いますが、大多数の乗客の皆さんは、スマホとにらめっこです。日本どこでも、多分この光景は変わらないでしょう。他には、目を閉じて休んでいる人も多いですね。意外なことに、読書している人も結構います。



電車やバス通学の皆さんは、毎日の車内での移動時間をどのように過ごしていますか。自由な時間ですので、友達とおしゃべりしたり、睡眠の時間に充てているかもしれません。でも、その時間を読書したり、何かを覚えたりする時間に充てるなど、有効利用すれば、皆さんにとって大きな財産になります。1週間、1ヶ月そして3ヶ月継続することができたならば、その人の良い習慣になります。仮に3年間継続できたら、自分の運命を大きく変える原動力になるかもしれません。初めの一步の差がとても大切です。そして、それを継続することが大切です。常岡先生の言葉を贈ります。

どんな高い山も、一握りの土から成っている。
大海も一滴の水の集まりである。
人の一生も、一日一日から組み立てられている。
一時、一刻を積んで人の一生は成り立つ。
今日一日くらいと軽く考えてはならない。
今日一日こそ、わが一生の基礎である。

常岡一郎 (政治家・宗教家・文筆家)

イスラムとはーユダヤ教・キリスト教・イスラム教の関係

イスラムは今、シリアなどからヨーロッパへの大量の難民や、日本人殺害事件やパリ同時多発テロを起こしたIS（イスラミックステイツ）との絡みで報じられています。他方、国内ではイスラム教徒のための空港での礼拝所設置や、ハラールフード（イスラム教の律法に則（のっと）った食料品）の店が紹介されたりもします。今やイスラム教徒は私たちの隣人になっています。

そこで、少しイスラムの世界を覗いてみたいと思います。

まず、イスラム教の起源です。

世界も人間も唯一の神が創造したとするユダヤ教は、ユダヤ民族が神によって救われると説いています。ユダヤ教が聖書としているものが「旧約聖書」です。

しかし、イエスは神を信じる者は誰でも救われると説いたため、十字架に架けられましたが、復活します。その時、イエスこそが救世主と考える人々が現れ、イエスがキリスト（＝救世主）として神から遣わされたのだと考える人たちがキリスト教徒になっていきます。そのキリスト教徒が考えをまとめたものが「新約聖書」です。

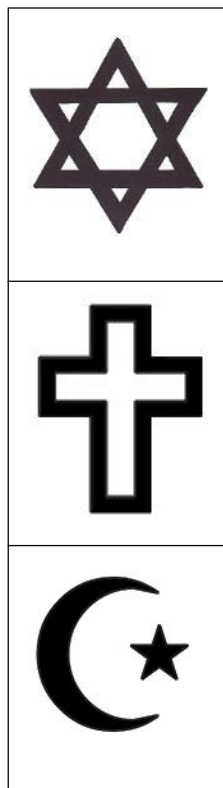
イスラム教はアラビア半島で6～7世紀、ムハンマドに始まります。天使ジブリエール（ガブリエル）が神の言葉を通訳して人々に伝えました。この神の言葉を文章に記したものが「コーラン」です。

奉ずる神は同一なのでこの3つの宗教は姉妹宗教と呼ばれています。

「イスラム（イスラーム）」とは、「唯一・絶対の神であるアッラー（英語でゴッド）に全面的に服従・帰依すること」で、その信者のことをイスラム教徒（ムスリム）と言います。

国連の統計（2015年）では世界の人口は約73億人ですが、キリスト教徒約22億人、イスラム教徒約15億人、ユダヤ教徒約1500万人とされています。参考までに仏教徒は約4億人です。

イスラム教徒のうち、アジアが約62%を占め、最多がインドネシアで約2億人です。イスラム教徒の人口は、今も増えています。ヨーロッパだけの問題ではありません。私達の周りにもイスラム教徒がいますし、これからはもっと増えていきます。私達は、イスラム教徒とともに共存していかなければなりません。グローバル化すること、そういうことなのです。



各シンボルマーク

二十四節気 立春（りっしゅん）2月4日頃 この日から立夏の前日までが暦の上での春です。寒さは最も厳しい頃ですが、降りそそぐ太陽の光からは、春の気配も感じられ始めます。節分の翌日で、「春立つ」ともいい、「立春」になることを、「寒明け」ともいいます。雑節の八十八夜・二百十日・二百二十日はこの日から起算します。